

第1回 日タイ観光WGの開催

2023年12月21日

会場：バンコク タイ王国観光スポーツ省2F会議室（対面・オンライン併用）

出席者：（タイ側）観光スポーツ省：モンコン次官補（共同議長）、パッタナシリ観光部長、パーヌパーク国際部長

タイ政府観光庁（TAT）：パウィニー東部アジア副部長

持続的観光特別地域開発管理機構（DSTA）：クサダ氏

コンベンション・エキシビジョンビューロー（TCEB）：プリバン上級副局長（オンライン参加）

タイ科学研究イノベーション推進委員会事務局（TSRI）：スパワディ上級専門家（オンライン参加）

（日本側）運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所（JTTRI-AIRO）：奥田所長（共同議長）、富田次長

観光庁：河田観光戦略課長（オンライン参加）

在タイ日本国大使館：山川書記官

日本政府観光局（JNTO）：土居バンコク事務所長、川崎MICEプロモーション部長（オンライン参加）

■開催経緯

1. 背景

- ・2023年2月にバンコクにおいて、観光シンポジウム（テーマ：「コロナ後」に挑む観光の変革～日タイ両国は質の高い観光に向けどのように取り組んでいくべきか～）を開催。その中で、高付加価値商品の作り方、交通接続性、バンコク+1となるような観光振興といった考えが出され、更に詳細を議論していくこととなった。
- ・2023年6月、宿利会長とピパット観光スポーツ大臣との会談において、「双方向の交流を促進し、持続可能な観光実現のため、WGを設置」について合意したことを受け、今

般第1回目となるWGをバンコクで開催し、WG設置の背景、目的、第2～5回目の議題案、メンバー、スケジュール等について双方で確認した。

2. 目的

- ・相互交流の拡大、相互理解の推進、持続可能な観光の実現に向けて議論を行う。
- ・WGでの議論の後、ASEAN全体に貢献できるようなアウトプット作成の検討を行う。

■開催概要

1. 開会挨拶

（1）モンコン次官補

- ・AIRO開設以来、協力関係を強化してきたが、2023年2月にシンポジウムを開催。持続可能な観光の実現を目指し、実務的かつ学術的に観光の諸課題を議論するために観光WGの設置で合意。
- ・今後観光分野での協力分野の方向性、深化をお互いに示しながら、貢献していきたい。日タイは互いに重要な観光市場。戦略的パートナーシップの一分野として、観光分野でも協力を深化させていきたい。

（2）奥田専務理事

- ・本WGでの持続可能な観光の実現、重層的かつ広範にわたる人的・文化的交流の実現に向けた議論が、今後日本・タイ両国が観光・交流を進めていく上での貢献につなげていきたい。



2. 説明及び議論

(1) 説明

- ・日本側事務局よりWG設置の背景、目的、第2-5回目WGの議題案、メンバー、スケジュール等について説明。

(2) 議論

①全体のテーマ

- ・「地方における観光収入」に関して、大都市だけでなく地方部の観光収入についても研究している。平日旅行や学習を目的とする「Meaningful Travel」もプロモーションしている。また地方部では交通の便が悪いところもあるが、昔ながらの伝統を楽しんでもらえるような観光も推進中である。
- ・「観光の円滑化」に関して、「観光人材の育成」の追加も検討してもらいたい。例えばタクシーやトゥクトゥクのドライバーなど、サービス業に従事する人たちを対象とする育成が重要。
- ・「持続可能な観光の実現」に関して、カーボンニュートラルツーリズムに関するアプリケーションを作成しており、それにより削減されたカーボンが取引できるようになっている。
- ・「Health and Wellness Tourism」というテーマに関する知見について、ぜひ当WGの中で今後共有させていただきたい。
- ・「観光政策」に関し、観光税、タイ観光ボランティア、(日本人・欧米人などの)タイ長期滞在者を対象とした取組について対象としたい。(ロングステイヤー向けのHigh-

- value Tourism、ソフトパワー政策に則った質の高い観光資源の発信、アクションリサーチの展開などについて説明。)
- ・CBT (Community Based Tourism) Thailand Standardは地域の観光を評価するスタンダードであり、GSTCに合致したものである。また、Creative tourismにも取り組んでいる。
- ・MICE分野は日本と連携したい。現在MICEシティーは大都市及び地方都市を含め10県ある。

②第2回目のWGに関して

- ・次回のテーマは「ソフトパワー」に焦点を当てるのはいかがでしょうか。引き続きタイ側・日本側の事務局間で調整してほしい。
- ・日ASEAN特別首脳会議において、日本人投資家によるタイへの投資誘致に加え、タイ・セクター首相がソフトパワーの活用についても言及しており、今後のWGでもその点についてはディスカッションすべきと考える。

③WG出席者

- ・テーマに関係する専門家又は研究者がいれば、是非招待してこのWGに出席していただきたい。

④今後の進め方

- ・次回のテーマについては両国の事務局で相談して決定し、後日フィードバックをお願いしたい。

3. 閉会挨拶

(1) モンコン次官補

- ・宿利JTTRI会長及び国交省関係者にタイの観光分野での日本側の貢献に感謝。本WGの開催によりAIROとの協力関係が深化し、観光分野でのタイ日の協力を最大限のものにしていきたい。

(2) 奥田専務理事

- ・「持続可能な観光の実現」に向け取り組むべき課題については、日タイ両国のみではなく、広くASEAN各国ひいては世界的にも共通する課題であると考え。よって、当WGの議題取りまとめに関しては両国のみならずASEAN各国の関係者に共有することも視野に入れていきたい。どのような形で行うかについては引き続き関係者で相談していく。

